

こころからだに、  
おいしいものを。



2025年8月27日

各位

会社名 ダイドグループホールディングス株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也  
(コード番号: 2590 東証プライム市場)  
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子  
電話番号 06-7166-0077

## 2026年1月期 通期業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、未定としておりました2026年1月期(2025年1月21日~2026年1月20日)の通期業績予想について、下記のとおり公表することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 2026年1月期 通期連結業績予想数値 (2025年1月21日~2026年1月20日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常損益	親会社株主に帰属 する当期純損益	1株当たり 連結当期純損益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	243,400	1,800	△400	△3,000	△94.84
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2025年1月期)	237,189	4,789	3,023	3,804	120.66

(注1) IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、会計上の調整をすることとなります。この調整による影響額として、売上高は32億円増加、営業利益は15億円減少、経常損益は28億円減少、親会社株主に帰属する当期純損益は22億円減少を通期連結業績予想に織りこんでおります。

### 2. 業績予想公表の理由

当社は、トルコ飲料事業においてIAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」(以下、超インフレ会計)に定められる要件に従い会計上の調整を行っておりますが、期初時点では為替およびインフレ率の見通しが不透明で、合理的な影響額の算出が困難なことから、通期業績予想について、一旦未定としておりました。

引き続き不透明な要素が多い状況下ではありますが、期初と比較し、一定程度の見通しが立てられる状況になりましたので、通期の業績予想を公表いたします。

### 3. その他

業績予想にあたっては、トルコにおける 2025 年末時点のインフレ率予測を 35.90%とし、為替レートの想定を以下のとおりとしております。

- 1 トルコリラ = 3.50 円 (期末時点) (超インフレ会計の適用により期末時点レートを適用)
- 1 ズロチ = 39.30 円 (期中平均)
- 1 中国元 = 20.50 円 (期中平均)

なお、2025 年 3 月 4 日に公表した配当予想については、安定配当維持継続の方針により、変更はありません。

#### (ご参考) セグメント別内訳

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	前期連結実績	今回予想	増減額	前期連結実績	今回予想	増減額
国内飲料事業	147,519	145,800	△1,719	986	△2,000	△2,986
海外飲料事業	56,263	63,700	7,436	5,083	5,600	516
医薬品関連事業	13,124	13,600	475	277	500	222
食品事業	20,651	20,200	△451	1,157	500	△657
希少疾病用 医薬品事業	8	500	491	△621	△500	121
調整額	△378	△400	△21	△2,093	△2,300	△206
合計	237,189	243,400	6,210	4,789	1,800	△2,989

(注 1) 報告セグメントごとの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでいます。

(注 2) 報告セグメントごとの営業利益は、ロイヤリティ控除前の数値です。

(注 3) 海外飲料事業について、超インフレ会計に定められる要件に従い、会計上の調整をしております。この調整により、前連結会計年度において、売上高は 40 億 65 百万円増加、セグメント利益は 9 億 33 百万円減少、当連結会計年度の予想値への影響額として、売上高は 32 億円増加、セグメント利益は 15 億円減少を織りこんでおります。

(注 4) 業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上